

LabVIEW™ クイックリファレンスカード

LabVIEWのドキュメントリソース

詳細ヘルプ

詳細ヘルプウィンドウは、LabVIEWのオブジェクトにカーソルを移動すると、各オブジェクトに関する基本情報が表示されます。**ヘルプ詳細ヘルプ**を表示を選択して、**詳細ヘルプ**ウィンドウを表示します。

LabVIEWヘルプ

LabVIEWプログラミングの概念、LabVIEWの使用手順、およびLabVIEWのVI、関数、パレット、メニュー、ツールに関するリファレンス情報が含まれます。『LabVIEWヘルプ』にアクセスするには、**ヘルプ**»**LabVIEWヘルプを検索**を選択します。

LabVIEWサンプルVI

LabVIEWは、ユーザが作成するVIに使用して組み込むことのできる数多くのサンプルVIを検索します。サンプルVIをアプリケーションに合わせて変更したり、1つまたは複数のサンプルからユーザが作成するVIにコピーして貼り付けたりすることができます。

ヘルプ»**サンプルを検索**を選択して、サンプルVIを参照または検索します。また、ブロックダイアグラムやピン付けしたパレットで、VIまたは関数を右クリックしてショートカットメニューからサンプルを選択し、VIまたは関数の**サンプル**へのリンクがあるヘルプトピックを表示することもできます。

LabVIEWウェブリソース

オンライン上でのナショナルインスツルメンツリソースへのリンクのリストが用意されています。**ヘルプ**»**ウェブリソース**を選択してni.com/jpにあるLabVIEWリソースへアクセスします。利用可能なリソースは下記のとおりです。

製品とサービス

- アップグレード情報
- カスタマートレーニング
- セミナー、イベント情報

ソリューション

- 産業別ソリューション
- 業界別ソリューション

サポート

- LabVIEWサポート
- 製品ドキュメント

NI Developer Zone

- ディスカッションフォーラム
- サンプルVI

キーボードショートカット

『LabVIEWヘルプ』でキーボードショートカットのリストにアクセスすることもできます。

オブジェクトおよび動作

Shift-クリック	複数のオブジェクトを選択、オブジェクトを現在の選択に追加
↑↓←→ (矢印キー)	選択したオブジェクトを一度に1ピクセルずつ移動
Shift-↑↓←→	選択したオブジェクトを一度に数ピクセルずつ移動
Shift-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトを1つの軸上に移動
Ctrl-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトをコピー
Ctrl-Shift-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトをコピーして1つの軸に沿って移動
Shift-サイズ変更	アスペクト比を維持しながら、選択したオブジェクトのサイズを変更
Ctrl-サイズ変更	中心点を維持しながら、選択したオブジェクトのサイズを変更
Ctrl-四角形をドラッグ	フロントパネルまたはブロックダイアグラムに空きスペースを追加
Ctrl-A	フロントパネルまたはブロックダイアグラム上のすべての項目を選択
Ctrl-Shift-A	前回行ったオブジェクトを調整の操作を選択されているオブジェクトに適用
Ctrl-D	前回行ったオブジェクトを均等に整列の操作を選択されているオブジェクトに適用
空きスペースをダブルクリック	自動ツール選択が有効な場合、フロントパネルまたはブロックダイアグラム上にフリーラベルを配置
Ctrl-マウスホイール	ケース、イベント、またはスタックシーケンスストラクチャのサブダイアグラムをスクロール

フロントパネルとブロックダイアグラムを操作する

Ctrl-E	ブロックダイアグラムとフロントパネルを切り替え
Ctrl-#	グリッドアライメントを有効/無効に設定 フランス語版キーボードでは、<Ctrl-#>キーを押します。(Mac OS) <Command>キーを押します。
Ctrl-/	ウィンドウを最大化または元のサイズに戻す
Ctrl-T	フロントパネルとブロックダイアグラムのウィンドウを左右に並べて表示
Ctrl-F	オブジェクトまたはテキストを検索
Ctrl-G	VI内のオブジェクトまたはテキストの次のインスタンスを検索
Ctrl-Shift-G	VI内のオブジェクトまたはテキストの前のインスタンスを検索
Ctrl-Shift-F	検索結果ウィンドウを表示
Ctrl-Tab	LabVIEW内のすべてのウィンドウをトグル
Ctrl-Shift-Tab	LabVIEWウィンドウを逆方向に切り替え
Ctrl-Shift-N	ナビゲーションウィンドウを表示
Ctrl-H	VIプロパティダイアログボックスを表示
Ctrl-L	エラーリストウィンドウを表示
Ctrl-Y	履歴ウィンドウを表示

VI階層ウィンドウを操作する

Ctrl-D	ウィンドウを再描画
Ctrl-A	ウィンドウ内ですべてのVIを表示
Ctrl-VIをクリック	サブVIとウィンドウ内で選択したVIを構成するその他のノードを表示
Enterキー†	検索文字列と一致する次のノードを検索
Shift-Enterキー†	検索文字列と一致する以前のノードを検索

† VI階層ウィンドウ内で検索開始入力後に行

デバッグ

Ctrl-↓	ノードの中に入る
Ctrl-→	ノードを飛び越える
Ctrl-↑	ノードの外に出る

ファイル操作

Ctrl-N	新規VIを作成
Ctrl-O	既存のVIを開く
Ctrl-W	VIを閉じる
Ctrl-S	VIを保存
Ctrl-P	ウィンドウの印刷
Ctrl-Q	LabVIEWを終了

基本的な編集

Ctrl-Z	最後の操作を取り消す
Ctrl-Shift-Z	最後の操作をやり直す
Ctrl-X	オブジェクトを切り取る
Ctrl-C	オブジェクトをコピーする
Ctrl-V	オブジェクトを貼り付ける

ヘルプ

Ctrl-H	詳細ヘルプウィンドウを表示
Ctrl-Shift-L	詳細ヘルプウィンドウをロック
Ctrl-?またはF1	LabVIEWヘルプを表示



メモ 以下のショートカットの<Ctrl>キーは、(Mac OS) では<Option>または<Command>キー、(Linux) では<Alt>キーに対応します。

ツールとパレット

Ctrl	次に使用頻度の高いツールに切り替え
Shift	位置決めツールに切り替え
空きスペースで Ctrl-Shift	スクロールツールに切り替え
スペースバー†	2つの一般的なツール間での切り替え
Shift-Tab †	自動ツール選択を有効にする
Tab †	自動ツール選択ボタンをクリックして自動ツール選択を無効にした場合、最も使用頻度の高い4つのツール間で切り替え。それ以外の場合、自動ツール選択を有効にする。
↑↓←→	一時的に表示された制御器および関数パレット内を移動
Enterキー	一時的に表示されたパレットに移動する
Escキー	一時的に表示されたパレットを出る
Shift-右クリック	カーソルの位置にツールパレットの一時的なバージョンを表示

† 自動ツール選択が無効な場合

サブVI

サブVIをダブルクリック	サブVIのフロントパネルを表示
Ctrl-サブVIをダブルクリック	サブVIのブロックダイアグラムとフロントパネルを切り替え
ブロックダイアグラムにVIアイコンをドラッグ	ブロックダイアグラム上にVIをサブVIとして配置
ブロックダイアグラムにVIアイコンをShift-ドラッグ	非デフォルトの値の制御器用に配線した定数とともにVIをサブVIとしてブロックダイアグラム上に配置
ブロックダイアグラムをCtrl-右クリックしてパレットからVIを選択	VIのフロントパネルを開く

実行

Ctrl-R	VIを実行
Ctrl-. †	VIを停止
Ctrl-M	実行/編集モードを切り替え
Ctrl-実行ボタン Ctrl-Shift-実行ボタン	現在のVIを再コンパイル メモリ内のすべてのVIを再コンパイル
Ctrl-↓ † Ctrl-↑ † タブ †	配列/クラスタの内部へキーフォーカスを移動 配列/クラスタの外部へキーフォーカスを移動 タブの順序にあわせて制御器/表示器をナビゲート
Shift-Tab †	逆順に制御器/表示器をナビゲート

† VIの実行中

配線

Ctrl-B	すべての不良ワイヤを削除
Esc、右クリック、または端子をクリック	配線を中止
ワイヤをシングルクリック	セグメントを選択
ワイヤをダブルクリック	ブランチを選択
ワイヤをトリプルクリック	ワイヤ全体を選択
A	配線中に自動ワイヤルーティング機能を一時的に無効にする
ダブルクリック (配線中) スペースキー	接続せずにワイヤを止める オブジェクトの移動中に自動配線を切り替え
Shift-クリック	配線した最後のポイントを取り消す
2つの入力端子を持つ関数の入力でCtrl-クリック	2つの入力ワイヤを切り替え
スペースキー	ワイヤの方向 (垂直または水平) を切り替え

テキスト

ダブルクリック	文字列内の1ワードを選択
トリプルクリック	文字列全体を選択
Ctrl-→	文字列で1単語ずつ前方向へ移動 (英文のみ)
Ctrl-←	文字列で1単語ずつ後方向へ移動 (英文のみ)
Homeキー	文字列内で現在の行の先頭へ移動
Endキー	文字列内で現在の行の最後へ移動
Ctrl-Homeキー	文字列全体の先頭へ移動
Ctrl-Endキー	文字列全体の最後へ移動
Shift-Enterキー	列挙体制御器/表示器、リング制御器/表示器、またはケースストラクチャに項目を入力する場合、新規項目を追加
Escキー	文字列内の編集を中止
Ctrl-Enterキー	テキスト入力を終了
Ctrl=	現在のフォントサイズを大きくする
Ctrl-	現在のフォントサイズを小さくする
Ctrl-0	フォントダイアログボックスを表示
Ctrl-1 †	アプリケーションフォントの変更内容
Ctrl-2 †	システムフォントの変更内容
Ctrl-3 †	ダイアログフォントの変更内容
Ctrl-4 †	現在のフォントの変更内容



† フォントダイアログボックス内

編集、実行、および、デバック用ツール
































VIツールバーには以下のツールが含まれています。ツールバー上のその他のツールについての詳細は、『LabVIEWヘルプ』を参照してください。


-  **詳細ヘルプウィンドウを表示**—詳細ヘルプウィンドウを表示
-  **実行**—VIを実行
-  **壊れた実行ボタン**—VIにエラーがあることを表示
ボタンをクリックしてエラーを一覧表示
-  **連続実行**—実行を中止するか一時停止するまでVIを繰り返し実行
-  **実行を中断**—トップレベルVIの実行を中止
-  **一時停止**—実行を一時停止または再開
-  **実行のハイライト**—実行ボタンをクリックしたときにブロックダイアグラムの様子を動画で表示
-  **ワイヤ値を保持**—VIの実行中にワイヤを介して渡されるデータ値を保存
-  **中に入る**—ノードを開き、一時停止
-  **飛び越える**—ノードを実行し、次のノードで一時停止
-  **外に出る**—現在のノードの実行を終了し、一時停止
-  **テキスト設定**—VIのフォント設定を変更
-  **オブジェクトを調整**—軸に沿ってオブジェクトを調整
-  **オブジェクトを均等に整列**—オブジェクトを等間隔に配置
-  **オブジェクトのサイズ変更**—複数のフロントパネルオブジェクトを同じサイズに変更
-  **並べ替え**—オブジェクトが重なり合っている場合、オブジェクトの重なり順を変更（前方と後方への移動を含む）

ツールパレットには以下のツールが含まれています。ツールパレット上のその他のツールに関する詳細については、『LabVIEW Help』を参照してください。

-  **ブレークポイントツール**—ノード上にブレークポイントを設定し、その位置で実行を一時停止
-  **プローブツール**—ワイヤ上にプローブを作成し、VI 実行中の中間値を表示

データタイプ端子

- | | | |
|--|--|---|
| 符号付き整数
(0) <ul style="list-style-type: none">  8ビット  16ビット  32ビット  64ビット | ブール
(FALSE) <ul style="list-style-type: none">  | 波形 <ul style="list-style-type: none">  |
| 符号なし整数
(0) <ul style="list-style-type: none">  8ビット  16ビット  32ビット  64ビット | 文字列
(空の文字列) <ul style="list-style-type: none">  | デジタル波形 <ul style="list-style-type: none">  |
| 浮動小数点
(0.0) <ul style="list-style-type: none">  単精度  倍精度  拡張精度 | パス
(<無効パス>) <ul style="list-style-type: none">  | デジタル <ul style="list-style-type: none">  |
| 複素浮動小数点
(0.0 + i0.0) <ul style="list-style-type: none">  単精度  倍精度  拡張精度 | リファレンス番号 <ul style="list-style-type: none">  | I/O名 <ul style="list-style-type: none">  |
| | 列挙体 <ul style="list-style-type: none">  | バリエント <ul style="list-style-type: none">  |
| | クラス <ul style="list-style-type: none">  数値  複数のデータタイプを含むクラス | ダイナミック <ul style="list-style-type: none">  |
| | 配列 <ul style="list-style-type: none">  1次元  2次元 | ピクチャ <ul style="list-style-type: none">  |
| | | タイムスタンプ
(グリニッジ標準時の
1904年1月1日 午前0:00) <ul style="list-style-type: none">  |

 **メモ** デフォルト値は括弧()に表示されます。

National Instruments, NI, ni.com、およびLabVIEWは、National Instruments Corporation (米国ナショナルインスツルメンツ)の商標です。National Instrumentsの商標の詳細については、ni.com/legalの「Terms of Use」セクションを参照してください。本文中に記載されたその他の製品名および企業名は、それぞれの企業の商標または商号です。National Instruments製品を保護する特許については、ソフトウェアに含まれている特許情報(ヘルプ>特許情報)、CDに含まれているpatents.txtファイル、ni.com/patentsのうち、該当するリソースから参照してください。USI (Xerxes C++, ICU、およびHDF5)にて使用されるコンポーネントに関する著作権、条件および免責条項の一覧は、USICopyrights.chmを参照してください。